

- **放送日** 8月27日(火)、9月3日(火)
- **テーマ**
「2019 クリーンレイク諏訪ふれあいまつり」開催について
- **出演者**
諏訪湖流域下水道事務所 担当係長 小笠原 清隆
- **聞き手とのやりとり(概要)**

Q 1 諏訪地域の下水道整備の状況はどのような状況になっていますか。

A 1 諏訪湖流域下水道は、諏訪湖の水質改善を目的に、昭和46年に事業着手し、昭和54年10月に豊田終末処理場と諏訪湖周の2市1町(諏訪市、岡谷市、下諏訪町)が汚水の処理を始めています。

その後、平成5年までに茅野市、原村、富士見町が汚水の処理を開始し、諏訪地域全体の下水道が使用可能になりました。

さらに平成28年に茅野市と立科町にまたがる白樺湖周辺のエリアを取り込み汚水の処理を開始しています。

なお、平成31年3月末の諏訪湖流域下水道の普及率は約99パーセントとなっています。

これらにより、諏訪湖の水質は着実に改善しています。

Q 2 皆さんの家庭から出た汚水はどのように処理されていますか。

A 2 皆さんの家庭や工場などから流された下水は、地中に埋められた管を通じて、「豊田終末処理場」に流入します。

処理場に入り、「最初沈澱池」でゴミや砂を沈澱させ、取り除きます。

次に、「水処理施設」で微生物の働きにより、汚れを取り除き、同時に窒素とリンも取り除きます。

最後に、「最終沈澱池」で小さなゴミや汚れを取り除き、諏訪湖に放流しています。

この過程で発生した汚泥については、脱水・焼却及び溶融結晶化を行い、

セメント原料や人工骨材として有効利用しています。

Q3 「2019 クリーンレイク諏訪ふれあいまつり」を開催する目的は何ですか。

A3 下水道の役割や必要性について広く地域の方々に広報し、下水道に対する理解を得ることを目的に開催しています。

Q4 今年度の「ふれあいまつり」の特長を教えてください。

A4 諏訪湖流域下水道が供用開始してから今年の10月で40年を迎えます。

また、普段見ることができない施設をより詳しく見学していただけるよう、3つの見学コースを用意しています。

1つめは、処理場内の水の流れに沿って見学する「水処理コース」です。このコースは、最も標準的なコースで所要時間30分程度となっています。

2つめは、汚泥処理の行程に沿って見学する「汚泥処理コース」です。水処理コースより少し専門的なコースで、所要時間は45分程度です。

「水処理コース」と「汚泥処理コース」を続けて見学できるよう時間配分を行っていますので、詳しくは最寄りの係員にお尋ね下さい。

3つめのコースは「展望・体験コース」と名付け、所要時間は約60分程度です。管理本館4階からの展望を楽しんでいただけるよう工夫しています。

その他、管理棟の階段を上ったフロアでは、「水の実験」や信州大学による「プランクトンの観察」等を予定しています。

興味がある方は、是非御参加下さい。

さらに昨年のアンケート結果をふまえ、休憩施設や軽食販売等をさらに充実させていますので、こちらもお楽しみいただけると思います。

Q5 イベント内容について詳しくご紹介ください。

A5 処理場内6箇所に設置されたスタンプを集めて記念品をゲットできる「スタンプラリー」や各種展示を予定しています。

また、ステージにおいて10時からオープニングイベントを行います。毎年、大変好評をいただいています諏訪清陵高等学校書道部による書道

パフォーマンスを予定しています。

なお、ステージイベントは 1 回限りとなっていますので、お見逃さないようお越しいただきたいと思います。

そのほか、長野県 P R キャラクター「アルクマ」や生活排水公式キャラクター「めぐるん」がお楽しみ広場に登場しますので楽しみに。

Q 6 最後に

A 6 ふれあいまつりは、9 月 10 日の「下水道の日」の関連イベントとして毎年開催しています。

例年この前後 1 週間に「ふれあいまつり」を開催しています。

開催日時は、9 月 14 日土曜日 午前 10 時～午後 3 時までとなっています。

当日は、朝 10 時の書道パフォーマンスを皮切りに、15 時までそれぞれのイベントを開催しています。

場所は諏訪市豊田のクリーンレイク諏訪（豊田終末処理場）となっています。

当日の駐車場は、場内南側に用意していますが、周辺の看板等に従って通行をお願いします。

詳しくは、諏訪湖流域下水道事務所までお問い合わせください。

電話は 0 2 6 6 - 5 8 - 2 9 5 5 直通となっています。

毎年大勢の方々にお越しいただき、ありがとうございます。

今年も賑やかに「ふれあいまつり」が開催できますよう、皆様のお越しをお待ちしています。